

一般質問とは

議員が町の一般事務に対し、その執行状況や将来の方針、政策提言や行政課題等を執行者に直接質すものです。

住民の代表である議員にだけ与えられた権利です。

広川町では、1人あたりの持ち時間は答弁含めて60分です。



コロナ感染防止対策

Q 学校、高齢者施設などの職員の方の検査支援を

A 検査キットが不足している。ワクチン接種をすすめた。

江藤 感染防止をし、安心して働いていただくために十分な検査ができるよう町の支援を求めます。

町長 保健所の対応が間に合わず、各事業所の判断、対応となつた。県の無料検査場設置や福祉関係施設への検査キットの配布など進む中、町としても支援を考えたが、検査キットの不足や検査結果が出るのに時間がかかることなど考慮し、保育園などの職員の方のワクチン優先接種をすすめた。

障がい者福祉
Q 利用できる制度の周知を
A 県に問い合わせ、要望する

江藤 介護認定を受けた方が、利用可能な障がい者支援の制度（所得税の障がい者控除・おむつの医療費控除・特別障がい者手当等）の周知は徹底しているか。ケアマネージャーの方にこの制度の研修、周知の指導をすべきである。広域連合に、実態を問い合わせ、申し入れをすべき。
町長 介護認定機関である県に、要請すべきと考える。

不登校対応

Q 社会的自立に向けて支援体制の充実を

A 教育支援センターの設置は、難しい

江藤 学校での対応はどうか。
教育長 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、精神対話士を配置し対応している。

江藤 じっくり寄り添って、様々な場面に対応するには、人的な配置が不可欠である。さらに、他の学校にも配置を広げることを求める。さらに、町内に教育支援センターの設置を求める。

教育長 支援センターは場所的な問題、人件費など経費面を考えると難しい。

江藤 立場の弱い子が安心して通える学校は、すべての子が安心して通える学校である。児童生徒、保護者、そして現場の先生の声をしっかり聴き、人のぬくもりのある学校づくりを求める。



江藤美代子 議員